

十一月末より十二月始めに至る間数回、交渉は依りて事業
主カ強硬ニ工場側シ主張シタル為組合側ハ数回のニ出テ
種々、屈辱的交渉ヲ行ヒタルカ纏ラサル為十二月十日前強
ヨリ稍活潑ナル行動ヲ開始シ外山事業主、母又妻定等ハ訪
問ヲ行ヒ且ハ数種ノビラ傳單ニユースヲ作製シテ配付又ハ
貼布シ十二月九日附友誼団体専議用達名、抗議文ヲ提出
十二月十五日別添「待念篤茂直云々」ト託セルビラ並三種
ノビラヲ工場附近ニ貼撒布シ一名検束サル

一、事業主側

事業主ハ十一月廿五日夜工場閉鎖ヲ發表シ解雇通知ヲ全員ニ
宛テ郵送シテ後強硬ナル態度ヲ執リ数回ノ交渉ニ際シテ工
場閉鎖ヲ力説シテ譲ル迄ナシ

一、交渉状況

十一月二十七日洲崎署ニ於テ工場主側外山外ニ名組合側側

家、淺沼、深谷、徑業負代表森松、安井外四名會見シ解雇
通知書ヲ纏メテ事業主ニ返戻シ、二十八日因様、會見ヲ行
ヒ勞働者側ハ工場閉鎖並解雇取消ヲ、事業主側ハ工場閉鎖
ノ已ムナキ旨ヲ各々強調シテ妥快セズ

十一月三十日因様、會見行ハシ勞働者側ハ極度ニ歎願的ニ
出テタルモ事業主側ハ工場閉鎖ノ外ナキ旨ヲ繰返シ強硬ニ
十二月三日、交渉ニ於テ又組合側ハ執拗ニ位置ニ堅持シ
十二月八日、會見ニ於テハ
徑業負側ヨリ「解雇ヲ承認スルニ就キ工場ヲ會共セラシ度
雇傭子係ヲ離ラテ下職トシテ仕事ヲ供給セラシ度」ト歎願
事業主ハ「將來工場整理ノ上ハ事業ヲ再開シ下職ヲ供給ス
ベシト先ハテ纏ラヌ決裂ス

一、警察事情

志後団及専議団員等ハ十二月十六日夜白米運搬、ノ物品ヲ